善正寺だより

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:059-331-1670
fax:059-332-0733

「身は本願の中にあり」

愚痴こぼさず　白道を歩みたい

最近、暗い状況の動体視力が随分悪くなり、後期高齢者講習を受けた時、検査の担当者から、「夜の運転は止めてもらった方がいいですね」とご注意を受けました。つくづく齢は取りたくないものだ、と愚痴がこぼれます。

でも、2メートルも下の用水路に滑り落ちるような大怪我でも、頭や足が助かり、命拾いした身を思えば、「愚痴などこぼさず、生かされる命に感謝しなければならぬ」と仏さまのお声が聴こえます。

今年十二月に三十七回忌を迎える、私の亡父は、晩年腸閉そくの手術を受け、人工肛門を点ける身になりました。手術後また布教に出かけるほどに回復しましたが、知り合いのお方の記念パーティーに参列するため京都に出かけた際、人工肛門から汚物が漏れて、肌着もズボンも汚して、駅の手洗いに駆け込んで洗い、駅前のデパートで肌着やスーツを買って、パーティーに出席して帰りました。

また、ある寒い冬の夜、お風呂場で肌着を洗濯する父の姿を見つけて、「お父さん、こんな夜中に洗濯などしないでいいよ、朝になったら家内に洗ってもらうから、早く休んで頂戴よ」と言いつつ、私は涙がこぼれました。

そんな辛いことがあっても、父は黙ってうなづき、愚痴をこぼすようなことはありませんでした。

「寝巻のままの渡辺尚爾がお話しします」と言いつつ「心は妄念消えざれど身は本願の中にあり、有難いですなあ、南無阿弥陀仏　南無阿弥陀仏」という寝床の法話が聴こえました。長く布教に携わってきた父は、寝たきりになってもそんな最期を過ごしました。

とても父の真似などできませんが、「身は本願の中にあり」と教えられ、妄念は消えないが愚痴こぼさず、浄土に至る白道を共々に歩みたいものです。

故先代住職(父)の晩年闘病生活を思いつつ雨の日も杖を突きリハビリ散歩に励む住職

善正寺
ホームページ

住職と坊守の
つれづれ日記

☆行事ご案内☆

10月の例会　10月18日(日)朝8時半

報恩講の打合せ、11／2のお非時(松花堂弁当)希望数伺い。申込は10／27まで。複数も可、電話でもOK

報恩講　11月2日午後1時半、お非時の弁当配布

11月3日午前10時　講師**赤井智顕師(兵庫・初)**

一縁会テレホン法話059－354－1454三分法話

三重組十三日講 10月13日(中川原　正覚寺様)

5時の鐘撞き誰でも撞けます。歓迎、ご褒美有、年中無休

善正寺HP33年間毎月発行の**善正寺だより**が閲覧可

18年毎日更新ブログ**住職と坊守のつれづれ日記**大好評

各QRコード参照、累計60万人以上が閲覧、悩み相談可

納骨堂後継者の無い方お墓でお困りの方ご相談下さい

新共同墓「倶会一処」の石碑境内に建立。記名プレート有

8月鈴鹿で夏井いつき先生句会ライブ
夏井先生、ご主人様、息子さんと、サイン会後、中3孫が堂々と俳句の質問攻め、

夏井先生も中3孫の俳句熱に驚かれた様子

8·15第12回盂蘭盆会法要、40名程がご参詣、くじ引きで景品

8·15正午『平和の鐘』撞き、戦争を知らない子供達に平和の有難さを伝える

坊守スケッチ 七本指のピアニスト

今から紹介するピアニストは、七本指(右五本、左二本)だけで弾く西川伍平氏(52)というニューヨークで活躍するピアニスト。彼は15歳でピアノを始め、後に渡米した。しかし26歳の時、指先が硬直するジストニアという神経系の難病を患った。医者からは「二度とピアノは弾けないと」宣告された。しかし彼は不屈の精神力で、残された七本の指だけで演奏できる程に回復した。

ついに2021年、東京パラリンピックの閉会式で演奏を披露した。演奏曲はルイ・アームストロングの『素晴らしき世界』。すると、国内外から感動を呼んで、コンサートや講演の依頼が殺到した。彼は「諦めない気持ちと、人の出会いが七本指の私を救った」と語る。

そんな彼が『ウチ断捨離しました』という番組に出演した。この番組は視聴者のゴミ屋敷を、断捨離提唱者・やましたひでこ氏が訪問してアドバイスする。西川氏の日本の家は結構片付いているが、引っ越したままで整理できていない。西川氏は「昔のモノは何でも簡単に捨てればよいと言うのではなく、捨てられないモノ、愛着のあるモノは無理に捨てなくてよい。これが私の音楽家としての断捨離です」と語った。

この言葉を聞いて、私は故・河村ふでさん(山口県萩市)の言葉を思い出した。河村ふでさんの息子達は、戦争で何人か命を落とされた。しかし誰を恨むこともなく、愚痴を言うこともなく、ひたすらお念仏を唱える生活を送られた。ふでさんの言葉が、七本指のピアニスト西川伍平氏の言葉と重なる。

「無いものを欲しがるよりも、有るものを喜ばせてもらおう」

誰も恨まず、羨ましがらず、有るがままを受け入れていく柔軟な心！後悔して泣いてばかりいても仕方ない。現実を受け入れて、そこから開ける世界があることを、お二人から学んだ。

盆会後、一家勢揃いの記念撮影

内孫2人、外孫4人、ささやかな食事会

お悔み申し上げます

★服部武司様(75)8／8富田一色

カンパ有難う

富田和代様、西寺正様、TS様、渡辺定美様　松田ひろみ様、他　感謝

お知らせ

報恩講お非時弁当締切10／27まで。他所の方もお申し込みを。電話でも可。

若坊守のコトコト日記No.141

八月中旬、「夏井いつき句会ライブin鈴鹿」に長男(中三)と行きました。長男は四年前も松阪で参加しました。

夏井先生ファンの俳句初心者の『チーム裾野』の客が大半なので、簡単に一句詠めるコツの伝授から始まりました。その後、兼題写真が映され、それを元に全員が一句詠みます。日常風景の兼題で、詠みやすいと感じました。

会場は七百人のお客さん。その中から優秀句が七句選ばれるのですが、何と私の句が選ばれました。嬉しさで飛び上がりたい心境でしたが、合評(ごうひょう)が終わるまで作者は名乗れないので我慢。そんな母の隣で長男は他の句についてマイクを握って意見を述べていました。その後作者が発表され、入選したのが私の句だと知った長男はビックリ仰天！その句が次の通り。

坂上の家主は鬼籍秋の庭

長男の同級生の祖父母が亡くなり、その後古いお宅が取り壊された寂しい風景を詠みました。

夏井先生にサインをもらい握手もしてご機嫌の長男。少し自信を得た私は、次は長男と一緒にNHK全国俳句大会に出品してみようかと思案中です。

俳壇＆柳壇

腐み桃安価につられ八個ほど　釋妙水
泣きじゃくる土かき集め甲子園
歯医者まで自転車コギコギ秋近し
宵闇を揺るがす音や遠花火　釋楽邦
蟷螂の抜け殻宙に蜘蛛の糸
ローカル線入り込む風も秋の色
新米を栗や茸で飾りつけ　釋妙梅
獅子舞いの時にもつれる後ろ脚
田畑を被う陽光パネル寒々し
遡上する目に移りゆく青楓　釋妙鈴
大池や鳥居もありて睡蓮花
夕焼けや薄紅(うすべに)に山尾抱く
プレゼント婆を自覚す敬老日　釋香誼
ひと休みハートの石に秋茜
峰雲や高架をトレーラーの影　釋秀龍
夕涼の鮨屋いつものあら汁を
席替えは窓側濃ゆき青あらし
電柱の陰に身を寄せ暫し避暑　釋清風
つくつくし命の限り今を鳴く
虫の音の密かに聞こゆ夜の道

反抗期でも弁当箱は空にして
食べこぼす老夫(おっと)の口元拭う老妻(つま)
（い藤をか志）

☆編集子より☆

「善正寺だより」394号をお届けします。◇各地で大雨洪水が次々と発生。ネパール、中国国境の土石流は氷河の大崩落が原因とは驚くべき事態。地球の温暖化は人類の生存を危うくするのか？◇長く暑い夏の後、体調不良の人が増えているようです。「身は医者に心は弥陀に丸任せ」と古人は言う。念仏申しつつご自愛のほど念じます。合掌。

秋季永代経の季節が巡ってきました。「永代経って何？」と思われる方が多いかもしれません。葬儀が三二葬儀社の価格競争で簡素化しました。昔は身近な人の死を通して、私の命の行く末に思いを馳せました。しかし家族葬や直葬が平気な時代に「永代経の意味」を伝えるのは至難の業。以前は葬儀になれば、家族や親族、隣近所や勤め先の人までが集まって故人との別れを惜しみました。最近は遺体を施設へ。子供達も地元定住ではなく単身家族も増加。こんな時代にご先祖の願いを伝える機会が少なくなりました。人との横の繋がり、親から子への縦の絆も希薄になり、困ったらAIに相談するという現代人が増えましたが、AIはどこまで責任を持ってくれるのでしょうか？地球温暖化でかつて経験したことのない天変地異が世界各地で勃発しています。終息が見通せない戦争、個々の欲望で滑走る時代に世界はどこへ向かうのでしょうか？私達は不安で寂しい時代に生きていかなければなりません。そんな現代人の心の拠り所を、お寺の法座で聞かせて頂きましょう。私達のご先祖が命の引き換えにお示し下さった仏法は、二千年の歴史のある真実の教えです。心の持ち方一つで、私の心の重荷は軽くなり安らぎます。どうぞ皆様も永代経にお参り下さいませ。

令和八年十月

合掌

善正寺坊守拝